YAMAHA

サウンドバー

SR-C30A

安全上のご注意

JA

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■ 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

■「お問い合わせ窓口」、「保証とアフターサービス」は本冊子の最終ページをご覧ください。

保証書別添付

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号

禁止を示す記号

行為を指示する記号

- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。

警告

「死亡する可能性または重傷を 負う可能性が想定される」内容 です。

異常に気付いたら

必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- **電源コード／プラグが傷んだ場合**
- **機器から異臭、異音や煙が出た場合**
- **機器の内部に異物や水が入った場合**
- **使用中に音が出なくなった場合**
- **機器に亀裂、破損がある場合**

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源

禁止

電源コードが破損するようなことをしない。
- **ストーブなどの熱器具に近づけない**
- **無理に曲げたり、加工しない**
- **傷つけない**
- **重いものをのせない**

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らない。
感電の原因になります。

必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。
誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。

必ず実行

AC アダプターと電源コードは、必ず付属のものを使用する。
火災、やけど、または故障の原因になります。

禁止

付属の AC アダプターと電源コードをほかの機器に使用しない。
火災、やけど、または故障の原因になります。

必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。
火災または感電の原因になります。

必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。

必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
火災や故障の原因になります。

設置

必ず実行

ユーザーガイドで指示された方法で設置する。
落下や転倒して、けがや破損の原因になります。

分解禁止

禁止

この機器を分解したり改造したりしない。
火災、感電、けが、または故障の原因になります。

水に注意

禁止

- **浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。**
- **この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。**

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手でこの機器を扱わない。
感電や故障の原因になります。

火に注意

禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

取り扱い

禁止

この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
感電や火災、または故障のおそれがあります。

リモコンの電池

禁止

- **コイン／ボタン電池を飲み込まない。**
- **使用済みを含む、すべてのコイン／ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かない。**
- **電池ケースが破損したリモコンを乳幼児の手の届くところに置かない。**

本製品に付属するリモコンはコイン／ボタン電池を内蔵しています。コイン／ボタン電池を飲み込んだ場合、2 時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン／ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。

禁止

電池を分解しない。
電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、失明や化学やけどなどのおそれがあります。

禁止

- **電池を火の中に入れない。**
- **電池を日光や火のような高温に晒さない。**

破裂により、火災やけがの原因になります。

禁止

使い切りタイプの電池は充電しない。
充電すると破裂や液漏れの原因になり、失明や化学やけど、けがなどのおそれがあります。

禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

ワイヤレス機器

禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。
この機器が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15 cm以内で使用しない。
この機器が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

「傷害を負う可能性が想定され る」内容です。

電源

禁止

AC アダプターを、布や布団で包まない。
熱がこもってケースが変形し、火災の原因になることがあります。

禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。
火災、感電、やけどの原因になります。

必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

設置

禁止

不安定な場所や振動する場所に置かない。
この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。

禁止

この機器を設置する際は、放熱を妨げない。
- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。**
- **通風孔 (放熱用スリット) をふさがない。(7 ページの図 1 を参照)**
- **指定以外の方法でこの機器を設置しない。**
- **風通しの悪い狭いところへは押し込まない。**

機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。サウンドバーの周囲に上 10 cm、左右 10 cm、背面 10 cm 以上のスペースを確保してください。

サブウーファーの周囲に上 20 cm、左右 20 cm、背面 20 cm 以上のスペースを確保してください。

禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。
故障の原因になります。

禁止

地震など災害が発生した場合はこの機器に近づかない。
この機器が転倒または落下して、けがの原因になります。

必ず実行

この機器を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルをすべて外す。
ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

必ず実行

本機を壁に取り付ける場合は、必ずお買い上げの販売店または専門の施工会社に依頼する。
この機器が落下して、けがや破損の原因になります。工事には、技術と経験が必要です。

聴覚障害

禁止

大きな音量で長時間この機器を使用しない。
聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

お手入れ

必ず実行

お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

取り扱い

禁止

サブウーファーのバスレフポート（前面の穴）に手や指を入れない。(7 ページの図 2 を参照)
けがの原因になります。

禁止

この機器の通風孔（放熱用スリット）やサブウーファーのバスレフポート（前面の穴）から金属や紙片などの異物を入れない。(7 ページの図 1、2 を参照)
火災、感電、または故障の原因になります。

禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

禁止

以下のことをしない。
- **この機器の上に乗る。**
- **この機器の上に重いものを載せる。**
- **この機器を重ねて置く。**
- **ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。**
- **この機器にぶら下がる。**
- **この機器に寄りかかる。**

けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。

禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。
接続されたケーブルを引っ張ると、機器が転倒して破損したり、けがをしたりする原因になります。

リモコンの電池

指定以外の電池を使用しない。
火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

電池はすべて +/ −の極性表示どおりに正しく入れる。
正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池をリモコンから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、炎症やリモコンの損傷の原因になります。

電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。
他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

図 1 サウンドバー

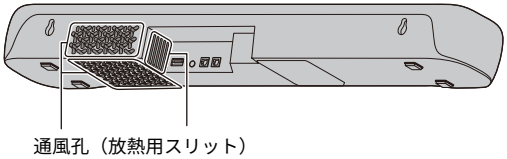
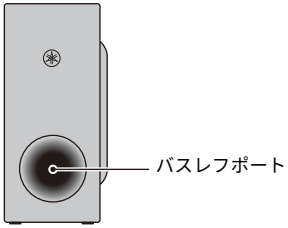


図 2 サブウーファー



注記（使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいた だく内容です。

電源

- この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。[⏻](スタンバイ／オン) で本機をオフ（スタンバイ）状態にしても微電流が流れています。

設置

- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。

  遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

接続

- 外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

  説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。
- 業務用機器とは接続しないでください。

  本機は民生用の機器と接続する目的で設計されています。業務用機器に接続すると、故障の原因となります。

取り扱い

- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色／変質する原因になります。
- 機器の周囲温度が極端に変化して (機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

無線機能の取り扱い

- この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

お手入れ

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になります。

スピーカー

- スピーカーユニットには触れないようにしてください。スピーカーユニットが破損する原因になります。

廃棄と譲渡

- 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。
- 本製品を譲渡する際は、本文書と付属品も合わせて譲渡してください。
- 本製品および付属品を廃棄する際は、各自治体の廃棄処分方法に従ってください。

お知らせ

製品に搭載されている機能に関するお知らせ

- バスレフポート (7 ページの図 2 を参照) から空気が吹き出す場合がありますが、この機器の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。
- この製品は、日本国内専用です。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

無線機能に関するお知らせ

（Bluetooth）

2.4 FH 2/XX 5

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「2」：想定干渉距離が 20 m 以内
「XX」：変調方式はその他の方式
「5」：想定干渉距離が 50m 以内
: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

（サウンドバーとサブウーファー間の通信）

2.4 XX 4

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「XX」：変調方式はその他の方式
「4」：想定干渉距離が 40 m 以内
: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

銘板に関するお知らせ

- サウンドバー

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報 は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管して いただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） **0570-011-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

https://jp.yamaha.com/support/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） **0570-012-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 10:00～17:00
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT京浜 E棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証期間
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10-1

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

© 2022 Yamaha Corporation
2022年5月発行
KSOD-A0

VFS3140

J

ヤマハ株式会社
〒430-8650　静岡県浜松市中区中沢町10-1